

「音楽のある生活」に関する調査

イー・ウーマンの6ジャンルの一つであるアクティブライフでは、生活を豊かにしてくれる「音楽」「アート」「映画」「舞台」などを生活に取り入れることを提案している。今回の調査は、中でも「音楽」に焦点を当て、音楽のある生活について聞き、607名から回答を得た。忙しい中にも、これらの要素を取り入れ、自分の時間を楽しんでいるリーダーズの「音楽のある生活」が浮かび上がってきた。

■ 音楽のある生活…… グラフ1 グラフ2

「あなたの生活に音楽を取り入れているか」を聞いたところ、「毎日生活に取り入れている」54.4%、「時々生活に取り入れている」37.2%、合わせて91.6%の人が音楽を生活に取り入れている。また、「どのようなときに、取り入れているか」を聞いたところ、最も多い回答は「リフレッシュしたいとき」75.3%と、8割近くの人がリフレッシュに音楽を活用していることがわかる。また、「気持ちを落ち着かせたいとき」(48.4%)や、「集中したいとき」(22.4%)よりも、「気分を盛り上げたいとき」(56.5%)という気持ちを高めたいときに音楽が取り入れられているようである。

■ 取り入れる音楽の多様性 …… グラフ3 グラフ4

「生活シーンによって、取り入れる音楽が違うか」との質問に対して、「取り入れる音楽が違う」と回答した人は51.9%と、半数以上の人回答した。また、「どのジャンルの音楽を生活に取り入れているか」を聞いたところ、最も多い回答は「ポップス」で77.6%、次に「クラシック」で73.0%となった。ポップスはマスマディアを通じた情報も多く、取り入れやすいことが伺える。また、クラシックは、「パートナーが好きだったことをきっかけに」「出産をきっかけに」など、周りの変化に応じて取り入れている人も多い。「ジャズ」は43.8%と、半数近くの人が親しんでいることがわかる。さらに具体的に見ると、「どんな気分になりたいか」によって取り入れる音楽を変えているという回答が目立った。また、「朝は明るく気分をあげるための音楽」、「掃除のときはアップテンポの音楽」、「集中したいときはクラシック」といった傾向が見られた。

■ CDを購入 …… グラフ5

「過去1年間で、あなたは、音楽を購入、もしくはレンタルしたか」を聞いたところ、「CDを購入した」と回答した人は74.1%となつた。「CDをレンタルした」と回答した29.8%と比べると、レンタルをした人よりも、購入した人のほうが多いことがわかる。その他の「PCからインターネットで曲を購入した」26.0%、「携帯電話からインターネットで曲を購入した」10.7%と、インターネットを活用している人もいる。その他の中には、「DVDを購入した」「友人から借りている」などの回答も見られたが、全体的には、多くのリーダーズが「CDを購入している」という結果となつた。

■ 納得し、購入する …… グラフ6

前述の「CDを購入している」と回答した人に、「なぜそのCDを買ったのか」を聞いたところ、「継続して聴いている、好きなアーティストだから」と回答した人が39.6%で最も多回答となった。また、次に多い回答となったのが、「曲を聴いて気に入ったから」35.8%である。その他の「ランキングが上位」1.8%や、「友人・知人にすすめられた」1.1%という結果を見ると、リーダーズは、自分が聴いて納得し、気に入ったものについて、「購入」をする傾向があることがわかる。

■ どこで聴いたことがきっかけ?

また、「曲を聴いて気に入ったから」と回答した人に、「どのようなところで聴いたかを質問したところ、「テレビ番組で使われていた」が26.1%と最も多く、「CDショップで視聴した」19.9%、「ラジオ番組で紹介されていた」16.1%、「テレビCMで使われていた」12.4%を上回っていた。また、その他には、「インターネットで視聴する」、「無料のPVを見て」などの回答が目立つた。忙しい毎日の中では、CDショップへ行ってから情報を収集するのではなく、テレビなどから流れてくる音楽に耳を傾け、興味を持ち、それを求めてCDショップへ行ったり、インターネットを活用して、視聴したもののが気に入ったら、それをインターネットから注文するというふうに、効率的に音楽を生活に取り入れる工夫がされている。

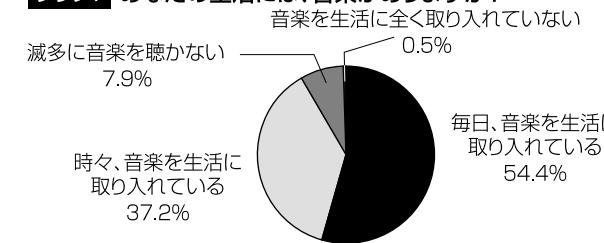
■ レンタルより、アルバム購入 …… グラフ7

「気に入った音楽がある場合、あなたは次のうち、どのような行動をとりますか」と聞いたところ、「その曲を演奏しているアーティストのアルバムを購入する」と回答した人が60.6%となり、「その曲を購入する」と回答した23.6%を大きく上回つた。また、「その曲を演奏しているアーティストのアルバムをレンタルする」25.5%と比べても、購入する人が多いことがわかる。気に入った曲を演奏しているアーティストについて、他の曲にも興味を持ち、また、効率的に複数の音楽に触れられることも、アルバムの魅力なのかもしれない。

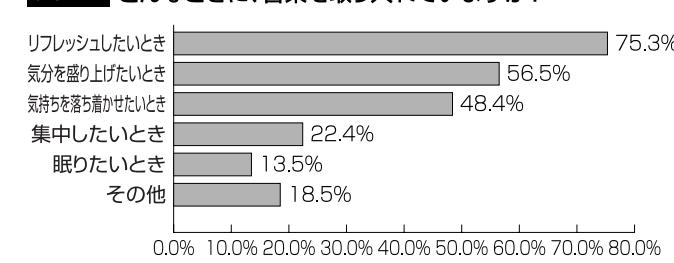
■ 音楽を楽しむための提案

最後に、「毎日の生活中で、音楽鑑賞を楽しむために、どんなサービスや環境、製品があつらよいと思いますか」と聞いたところ、多様な提案が集まつた。提案の要素は大きく3つの要素が見られるが、まずひとつは、音楽を楽しむための「機器」に関する事。例えば、「音漏れしないヘッドセット」「玄関のセンサーライトのように、帰宅した瞬間に音楽が流れれるシステム」などが挙げられた。二つ目には、音楽を楽しむ「環境」に関する事。「音楽鑑賞室の時間単位レンタル」「街中にバスがあって、待ち時間などに手軽に視聴ができるスペース」などの提案があった。三つ目には、楽しむための「サービス・仕組み」に関する事が挙げられた。「店で流れている音楽の曲名などをその場で手に入れられるサービス」、「ラジオを聴いていて気に入った曲に出会ったときに、ボタン一つでカーステレオや音楽機器にダウンロードできるサービス」、などタイムリーに音楽情報が手に入るサービスを求める声が多く集まっている。また、「好きなアーティスト以外の情報が入りやすいように、自分の好きなジャンルやアーティストの特徴から別のアーティストの曲や、別のジャンルの曲などを判別し、紹介してくれるサイトがあるとよい」といった提案も見られた。忙しい毎日であっても、音楽を生活に取り入れたいと思っているリーダーズだからこそ、効率的な取り入れ方の工夫が見られ、また、日々思いつく提案が多くあることが、今回の調査でわかった。イー・ウーマンのアクティブライフでも、このような観点の情報の分かち合いを進めていきたいと思う。

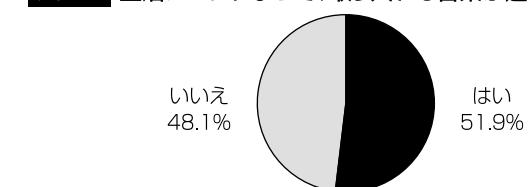
グラフ1 あなたの生活には、音楽がありますか?



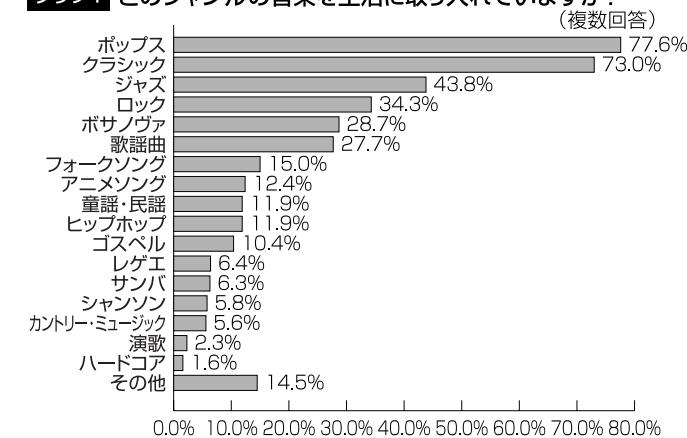
グラフ2 どんなときに、音楽を取り入れていますか?



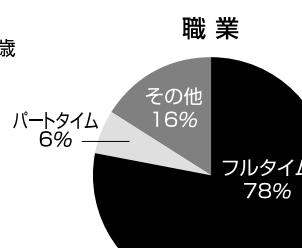
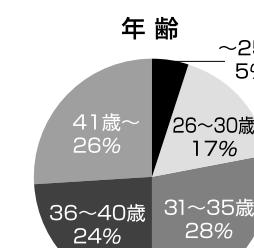
グラフ3 生活シーンによって、取り入れる音楽が違いますか?



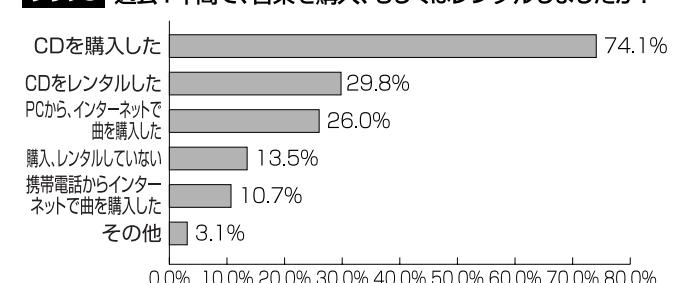
グラフ4 どのジャンルの音楽を生活に取り入れていますか?



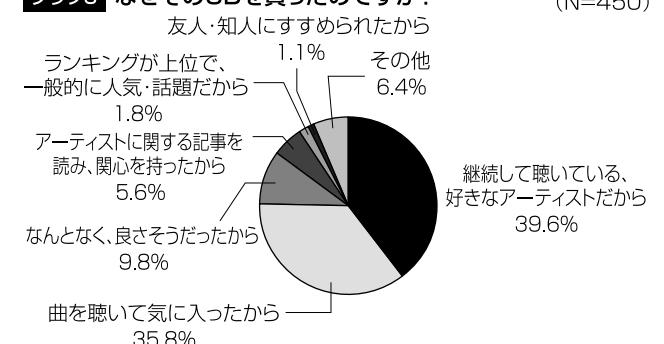
LEADERS DATA



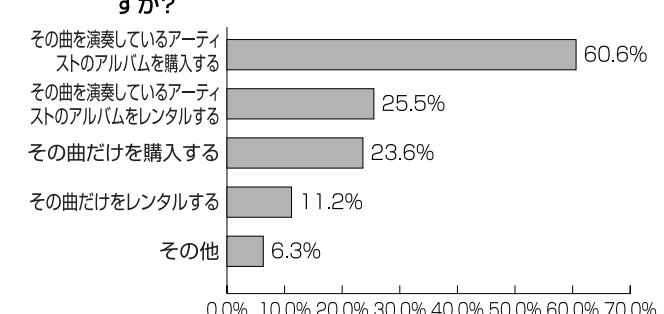
グラフ5 過去1年間で、音楽を購入、もしくはレンタルしましたか?



グラフ6 なぜそのCDを買ったのですか?



グラフ7 気に入った音楽がある場合、どのような行動をとりますか?



<調査概要>

調査実施:2008年10月30日(木)～11月4日(火)
調査方法:インターネットによる自記入式アンケート
対象:イー・ウーマンリーダーズ
有効回答数:607名